

令和6年度 第4回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

（敬称省略）

- 1 開催日時 令和7年2月14日（木） 10時30分から12時00分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 小杉 思主世、大谷 一雄、水谷 加寿代、原 隆之、森田 賢児、
中川 有香（学校支援コーディネーター）、伊藤 大輔、長澤 秀幸
鈴木 麻衣子（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 廣野 篤男
- 5 オブザーバー 神谷 匠（東部協働センター）
- 6 学校関係 小林 延和（校長）、鈴木 滋雄（教頭）、鈴木 由香（主幹教諭）、
村上 友香（CS担当教諭）、伊藤 龍彦（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 龍彦
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、鈴木委員が本日の議事を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価について（「いじめ防止等のための基本方針について」を含む）
- （2）来年度の学校運営の基本方針について
- （3）学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の村上教諭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）学校関係者評価について（「いじめ防止等のための基本方針について」を含む）

議長の指示により、鈴木主幹教諭から、別紙資料に基づき、後期学校評価の考察といじめ防止等ための基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 自分の言動について、相手がひどく傷ついたという経験があった。子供だったらどうだろうと思う。考えさせられた。本人は、これがいじめだと分からないこともあるので、言ってくれれば、自分も理解できた。刺さっている言葉をずっと引きずることもある。いじめの件数については、たくさん見つけていることは、評価に値すると思う。大人なら、話し合いで済むことが、子供同士では、難しい。小さい子は、大人の仲介がないとなかなかできないのではないかな。（原委員）
- ・ 静岡県内でも、低学年の子供のいじめが増えており、全般的に増加傾向である。積極的な認知が必要だと思う。「だめだよ」という指導は、正しいけれど、人にとっては、「だめだよ」と言われたことに対して、いじめられたと感じる子もいる。「もっとこうなったら、うれしい」という言葉を目的論で伝えられるとよいのではないかなと思う。ちょっとした声掛けが大切で、いじめの改善にもつながると思う。（長澤委員）
- ・ やって欲しいことを言葉にするとよい。例えば、廊下を走るな！ではなく、廊下をゆっくり歩こうね！（鈴木委員）

- ・ いじめをしない、負けない、見逃さないということとしていくと、認知件数は、上がってくる。いじめの定義があるので、学校は対応していると思う。（森田委員）
- ・ 心の日とか、いろいろなことを通して、「ふわふわ言葉・ちくちく言葉」を教えてください。学校内の様子を伝えてくださるのは、大変ありがたい。先生たちは、一生懸命やってくれていると思う。（中川委員）
- ・ 以前と比較すると、あいさつはよくなってきている感じがする。伝統になれば、何かを意図的にしなくても、しっかりできるようになる。小学生より中学生の方があいさつはよくできていると思う。自分からすることが大切だと思う。（大谷委員）
- ・ 親は、子供があいさつしていないと感じている。見ていると、旗振りの方は、子供と仲が良い。毎日、顔を見ていると、ふれあい度が違っているのを感じる。（鈴木委員）
- ・ 子供たちの大人に対する警戒感がすごく高くなってきているのではないかな。不審者情報等の影響かもしれない。見知らぬ人からの声掛けを警戒している。あいさつができていないことは、無理ないのかもしれない。（大谷委員）
- ・ 大人の声掛けに返答することは、大切だと思う。（鈴木委員）
- ・ 地域の老人会等であいさつについて話している。自分達の関わる組織で、あいさつを推奨していきましょう。（会長）
- ・ 白脇小では、あいさつ当番が決められており、少し早めに登校して、子供たちが子供にあいさつをしている。班ごとに分かれ、1年生から6年生まで順番に実施している。（神谷オブザーバー）
- ・ 年に1度の声掛けや委員会を通してのあいさつなど実施しているが、一昔前と比較すると少なくなっているのかもしれない。（校長）
- ・ 慣れによって、声掛けもスムーズにできてくる。家庭の中では、どうだろうか？（鈴木委員）
- ・ 一緒に夕ご飯を食べるようにしているが、今日の出来事を話し合っている。父親には言えないけど、母親に言えるということもある。（伊藤委員）
- ・ コミュニケーションを家庭内でとることは大切ですよね。（鈴木委員）
- ・ 旗振りをやっているが、子供たちは、あいさつすることにむずむずしている子が見て取れる。相生小の縦割りの関係は、微笑ましい。（水谷委員）
- ・ あいさつプラス一言を心掛けつつ、元気よく声をかけると、子供たちの反応が変わってきた。自分が変わってみると、子供の声も大きくあいさつをしてくれるようになった。（原委員）
- ・ 重要な伝達事項が伝わらないのは、連絡ツールの問題なのか？（森田委員）
- ・ 送るものが、多くなると見なくなる傾向にある。子供が渡さないということもあるので、連絡ツールの使い方は、注意していく。（校長）
- ・ 紙をなくすことは、大切だと思うが、効率化することにより、大切なものが、失われることがないようにしてほしい。（森田委員）

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

校長より来年度の学校運営の基本方針について、別紙資料に基づき、説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 発達支援は根が深い。対応によって、子供たちのストレスが減っていく。学校内ではスクールカウンセラーに相談しやすい環境になっているのか？ (原委員)
- ・ スクールカウンセラー (SC) と教員を含めて対応している。発達支援学級だけでなくすべての生徒に対して、対応している。 (校長)
- ・ 自分の子供について、分かっていない親がいる。気づかせることも大切だと思う。発達障害の子でも適していることが、たくさんある。学校の取り組みを聞いて、安心した。 (原委員)
- ・ 来年度の目指す学校像の中で、「なりたい自分」に向かってということで、1年生から「なりたい自分の姿」を思い描くことはできるのか？ (森田委員)
- ・ 1年生でも自分の良さを知ることや周りから認められることが、なりたい自分の姿だと思う。 (校長)
- ・ なりたい自分をつくっていくためには、他者との関わり合いが大切だと思う。相生小には、その素地があると考えている。 (森田委員)
- ・ 子供たちが、自分の良さやなりたい自分の姿に、気付くことができるようなボランティア活動を続けていければと思います。 (鈴木委員)

熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

会長より、別紙資料に基づき説明があり、全員異議なく賛同した。

その他の報告事項等

司会から令和7年度第1回学校運営協議会は、2025年5月12日(月)13:20～15:30 多目的室にて開催する旨の報告があった。